

編集後記

令和最初のRISTNewsをお届けします。

「京」がその役目を終え、令和元年8月16日に共用を終了しました。「京」は完成当初、世界1位の速度でした。その7年後の令和元年6月でも世界での順位は20位であり、存在感はとても大きいものでした。「京」の後継機の名前も「富岳（ふがく）」に決まり、各計算分野もさらに発展していくと思います。一方シミュレーションだけで無く、機械学習をベースにした人工知能（AI）も当たり前存在になりつつあります。

今回のRISTNewsはそんな私たちを取り巻くホットな情報を先生方に寄稿していただきました。

巻頭言は新しく理化学研究所の計算科学研究センター長に就任された松岡先生にお

願いしました。さらに東北大学の滝沢先生は職人的プログラム手法をAIが最適な提案をしてくれる、プログラムを書くひとにはうれしい話を書いてくださり、量子科学技術研究開発機構の徳永先生は、核融合の実用化のために、いかに特殊条件下に必要な装置を作るためにシミュレーションが有用であるかを書いてくださいました。

「京」の共用終了が近づくにつれて少しさびしい気分になってしまいましたが、これから「京」から「富岳」へのバトンタッチを見られると思うとわくわくした気持ちに変わりつつあります。

今回の発行にご協力頂いた皆様に深く感謝申し上げます。今後ともRISTNewsをよろしく願いいたします。（須永）